

2024年度「ものづくり開発・グリーン成長分野推進補助金」（札幌市補助事業） 交付決定事業者一覧

No.	分野	企業・団体名	事業計画名	事業の概要
1	製造	株式会社アイムバック 【札幌市】	食品業界の省力化に貢献するポリ袋ピッキングシステムの開発	弊社では、箱型容器（番重、発泡スチロール等）の内側にポリ袋を掛ける作業を自動化した「内袋機」を開発しているが、手作業の時に使用しているポリ袋を使うことができず、別途トレットペーパーのようなロール状の内袋原反を準備する必要がある。原反は製造ロットが大きく、大量生産する単一品種であれば大幅な省力化が図れるが、近年、少量多品種生産の流れがある中で手作業の時のポリ服ををそのまま使用できる内袋機の開発要望が増えてきている。開発を検討する中で積み重ねたポリ袋を1枚ずつ取り出す工程が貴重な要素となるため、今回開発テーマとして取り組む。
2	健康福祉・医療	株式会社エスビー健康研究所 【札幌市】	高機能性GPCR標的抗体を効率よく創製する新たなプラットフォームの技術開発	Gタンパク質共役受容体（GPCR）に対する医療用機能性抗体の取得技術「MoGRAA®ディスカバリーエンジン」にウイルス免疫法を組み合わせることで、既存技術の問題点を克服した『MoGRAA®2.0』を新たに開発する。独自の創薬探索プラットフォームとして確立していた技術をさらに発展させ、候補抗体の取得効率を向上させるとともに、多様な機能性抗体の取得を可能にし、医薬品市場におけるGPCR創薬をさらに加速させる。『MoGRAA®2.0』による医薬品開発の高速化・効率化により、バイオ医薬品への期待が年々高まっている疾患領域での開発をさらに促進し、患者様に多様な治療選択肢を早期に提供することを目指す。
3	環境	株式会社komham 【札幌市】	生分解性プラスチックの資源循環に向けた研究開発	生ごみのコンポストに関与する微生物の研究開発過程にて、生分解性プラスチックポリ乳酸の分解を促進できる微生物を特定した。本事業では、ソーラー発電で自動駆動する独立型のスマートコンポスト®と特定微生物を組み合わせることで、実質CO2排出量ゼロ、消費電力ゼロの生分解性プラスチック分解システムの実証実験を実施し、生分解性プラスチックを資源循環できるシステムを開発する。
4	健康福祉・医療	株式会社さくらコミュニティサービス 【札幌市】	「もん助」業界横断型スキマバイト・マッチングプラットフォーム開発事業	介護業界向けスキマバイトマッチングアプリ（もん助）の機能を拡充し、他業界（医療業界、保育業界や障がい福祉業界）でも利用可能な各業界特化型プラットフォームを開発します。既存データベースを活用し構築することで、業界をまたがる人材データベースの確立とワーカーのリアルタイムのニーズを把握することが可能になります。そうして、他職種の採用や人材の流動性を高め、採用効率の上昇に努めます。
5	食	株式会社スリーピー 【南幌町】	2次栽培タモギ草から増産されるエルゴチオネインによる健康社会構築への貢献	初期栽培タモギ草の収穫後に栽培ビンに注水して10日ほどの暗培養・発芽期間を経過することで2回目のタモギ草の収穫ができてタモギ草を増産することができます。キノコ類にはエルゴチオネイン(EGT)というアミノ酸の一種である機能性成分が含まれており、タモギ草にはキノコ類の中でEGTが最も多く含まれている。このEGTは高齢者の記憶力や注意力の改善、発症の遅延や睡眠改善、疲れの回復などに効果があり、タモギ草の2次栽培技術を確立してタモギ草の生産量を増やすことで微力ではあるが健康社会構築に貢献できると考えている。
6	健康福祉・医療（バリアフリー）	有限会社テックワークス 【札幌市】	デジタル装具サービスプラットフォームの研究及び社会実装	前年度、私たちは「装具難民ゼロ社会」を目指し、短下肢装具着用者が暮らしやすい日常を作るための、デジタル装具サービスプラットフォームを研究開発してきました。本件事業では、デジタル装具®サービスプラットフォームの社会実装を目的として事業化を進めます。このため、6つの実施内容を柱として本事業を進めていきます。具体的には「1.予約機能の実装（アプリ、WEB）」、「2.業務システムの設計・開発・実装」、「3.サポート企業システムの設計・開発・実装」、「4.歩行チェック機能の精度向上」、「5.装具知識共有機能の実装」、「6.実証実験」です。
7	健康福祉・医療	電制コムテック株式会社 【江別市】	電源内蔵型高照度光照射装置の試作開発	ウェアラブル型高照度光照射装置として、電源を本体に内蔵させケーブルレス化を図った電源内蔵型の高照度光照射装置の製品化を目指した試作開発を行うことを目的とし、各種性能評価および安全性評価などを実施することにより、早期に製品化を目指すものである。
8	健康福祉・医療	有限会社北海化成工業所 【札幌市】	MRIコイルサポート台の製品アイテム拡張と量産化	MRI撮影時に患者胴体に乗せるコイルは、快適性や良質な画像取得に支障をきたすことがある。その問題解決のため、令和3年度札幌医科大学ニーズ発表会を経て、令和4年度ノーステック財団・医療機関ニーズ対応型開発補助事業にて開発した現行コイルサポート台は、高評価を得ている。現在は、手、足、頭、など特定部位を撮影するための新たなアイテムやメーカーごとの機種にフィットする形状などが求められている。そこで、MRI撮影現場のさまざまなニーズに対応するため、複数の製品アイテムを用意し、パーツの改良（3Dプリンター製から射出成型に変更）により量産体制を構築して放射線科の問題解決に貢献したいと考えている。
9	IT（バリアフリー）	株式会社メディア・マジック 【札幌市】	高齢者・ロービジョン者・色覚障がい者向けバスロケーションシステム開発	高齢者・ロービジョン色覚障がい者がスムーズに利用できる配慮を行ったバスロケーションシステムの開発を行う。地域交通における足としてバスは重要な役割を果たしており、遅延や運休情報などデジタル技術により即時性のある情報が配信されているため、依然高齢者・ロービジョン者・色覚障がい者などスマートフォンやアプリ利用に困難を抱えた人々に向けても同様に、得られる情報に差が生まれないよう、アクセシビリティに配慮した操作性・UIを備えたシステム提供を目指していく。
10	食	株式会社リナイス 【札幌市】	サケ頭部未利用部位を有効活用した新規美容訴求食品原料「デルマタン硫酸含有ムコ多糖・タンパク食品原料」の開発及び商品化	当社は北海道産未利用資源（サケ鼻軟骨）から機能性成分プロテオグリカン・Ⅱ型&Ⅺ型コラーゲンを抽出精製し製造販売している。また昨年、サケ頭部未利用部位エラからエラスチンを開発、量産化に成功した。当社はSDGsに基づいた事業を本業とし、研究開発においては水産系廃棄物の更なるアップサイクル化を推進。一方でヨシキリサメがワシントン条約規制対象となり、サメ由来コンドロイチンの供給が不安定化する状況がある。本事業では、水産系未利用部位のさらなるアップサイクル化を目的に、サケ頭部から鼻軟骨・エラを除いた残渣から、新たな機能性食品原料「デルマタン硫酸含有ムコ多糖・タンパク食品原料」の開発・量産化を目指すものである。

※五十音順